

令和6年度 神奈川県立高津支援学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

令和7年4月

番号	取 組 課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	教育公務員として、教職員一人ひとりが神奈川県職員行動指針を厳守する。	○教職員として、公務内外において、常に高い倫理感を持ち、自身の行動を律し、不祥事(わいせつ事案等)防止に努めた。 ○法令遵守に関する啓発・点検資料や通知、映像を活用した不祥事防止研修を実施できた。 ○具体的事例を交えた注意喚起を行い、法令遵守の意識を高めるよう努めた。
2	職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	教職員一人ひとりがハラスメントについて理解し、良好な職場環境を作る。	○ハラスメントに関する啓発・点検資料や通知を活用した不祥事防止研修を実施できた。 ○職員同士が互いにコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築くことにより、良好な職場環境を作るよう努めた。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	あらゆる場面において、児童・生徒の人権を尊重した関わりを行い、教職員一ひとりが当事者意識を持って取り組み、わいせつ、セクハラ行為を行う職員をゼロとする。	○わいせつ、セクハラに関する職員啓発・点検資料やチェックリスト、通知を活用した不祥事防止研修を実施し、根絶に向けて、周知・徹底を図ることができた。 ○具体的事例を示した職場研修を実施し、教職員に当事者意識が持てるよう努めた。
4	体罰、不適切な指導の防止	児童・生徒の気持ちに寄り添った指導を行い、体罰、不適切指導はゼロとする。	○児童生徒の生活年齢に応じた呼称や適切な身体接触を伴う支援など、人権を尊重した指導・支援が常になされるよう、相互に注意し合える同僚性を高めるよう努めた。 ○管理職は、授業や指導の様子の日常的な巡視を行った。
5	入学者選抜、成績処理(個別教育計画)及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	児童・生徒関係資料を適切に取扱い、保管等を行う。	○啓発・点検資料を通じた研修の実施と、ファイル基準表に則った書類の保存、廃棄等を適切に実施できた。 ○日々の個人情報の取り扱いや、印刷物の取り忘れ等、リスクの高い場面を明確にしながらか適宜注意喚起を行うことができた。
6	個人情報等の管理(メールアドレス等の取得・管理)、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報等の適正管理を徹底する。	○情報セキュリティ研修会を実施し、適宜正しい情報の共有とチェック体制を機能させることができた。 ○携帯電話への個人情報の登録、個人情報持ち出しなどについて、申請手続きの徹底と処理の確認を確実に行うことができた。
7	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底する。	○交通法規に関する不祥事防止職員啓発・点検資料や通知を活用した不祥事防止会議を実施した。 ○適宜注意喚起を行い、全職員の交通安全意識の向上を図った。
8	会計事務等の適正執行	私費会計システムの改善と事故防止に努める。	○会計処理のマニュアルを活用し、確実に適切な会計処理を行うことができた。
9	不祥事根絶全般	全教職員が不祥事を起こさないという意識を常に持って行動をするとともに、同僚性を高め合うよう努める。	○年間を通して管理職との個別面談の中で不祥事防止に関わることを話題とし、全職員に周知徹底を図ることができた。 ○ヒヤリハット・アクシデントが生じたときは、朝の打合せ時に報告し再発防止策を明確にし、共通理解を進め、当事者意識を醸成することができた。 ○9月末にゼロプログラム全般の中間検証を行い、適宜対応策を検討、修正することができた。

令和6年度不祥事ゼロプログラムについては、定例の職員会議にて研修会を実施し、毎月一人ひとりが資料の内容を確認することにより、不祥事を自分事として意識できるように努めた。また、報道、県からの通知等を参考に、朝の打合せ時に注意喚起を行い、教職員の意識向上を図った。ヒヤリハット・アクシデント報告については、迅速に全校で共有、改善策の取組状況を1カ月後に再度確認するという流れが定着した。報告に対する積極性も向上し、原因や改善策の共有がなされ事故防止への意識が高まった。

令和7年度は、特に、ハラスメントや不適切な指導の防止について、人権の尊重を基礎として事故・不祥事の未然防止に全教職員で取組みたい。